

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 野楽里

目標達成計画

作成日: 平成 31年 1月 29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	6)	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10 (6)	◎事業開始2年経過し、家族と情報共有しているが、利用者と家族の繋がりを絶たないよう連携を密にしていく必要がある。	ご利用者様の現状を見える化し、面会や外出の機会が増える。また、個々の情報が増えケアに反映できる	・面会時には担当を中心として、ご利用者様の様子を伝える。 ・担当が一筆記入したものと可能な限り写真も添えて、毎月家族に送付する。 ・家族の意向を記録に残す	6ヶ月
2	33 (12)	◎重度化や終末期に向けた取り組みが不十分である。	看取り対応の知識を学ぶ。また、円滑な協力体制の確保	・講師を依頼し勉強会を最低年1回は開催。 ・看取り加算の条件について勉強する。 ・介護保険更新時や看取り時期が近くなった時に、延命治療希望の有無や家族の意向を再度確認する	12ヶ月
3	2 (2)	◎地域との繋がりがまだ不十分。地域の一員としての交流ができていない。	交流を深め、ホームの存在を広める	・地域の防災訓練に職員が参加する。また、福祉施設防災訓練の日に地域の方に協力を得る。 ・年度末などの会合に参加し、地域の活動を把握し交流機会を計画する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。